

令和6年度 園 評 価

(園名) 大垣市立すもと保育園

【園目標】 心身ともに健康で明るく思いやりのある子 ・元気に体を動かす子 ・思いやりのある子 ・夢中になって遊ぶ子	【前年度の成果と課題】 ・友達と遊びや活動を進めていくことができるように、話し合いの時間を大切にして、気持ちを理解し言葉の伝え方を知らせていく。 ・保育者間の交流や連携を図り、保育観や技術を学び、自己表現ができる遊びの環境工夫や個々に応じた援助をする。 ・安心、安全な保育環境と災害時における体制を絶えず見直す。 ・地域人材や場の活用により、多くの感動体験が得られるようにする。
--	---

4段階評価

○保育者☆関係者

観 点		短期目標(評価項目)	自己 評価	保護者 評価	評価及び意見の概要
子 ど も へ の 保 育 ・ 教 育	身 体 的 発 達	保育者や友達と一緒に十分に体を動かして遊ぶ。	3.6	3.8	○保育者が率先して遊びに加わったり、仲介やきっかけ作りをしたりすることで、あきらめずに何度も挑戦し続ける子が増えた。 ○チャレンジタイムを設け、自分たちで目標をもち、継続的に取り組むことができた。 ☆保育者が多くの子ども達に目を掛けたり、言葉を掛けたりしている。そのことが子ども達の安心につながり、自信をもって活動できている。 ☆子ども達が笑顔でのびのびと活動していた。保育者も一人一人に寄り添って共に体を動かし楽しんで良かった。
	社 会 的 発 達	相手にも思いや気持ちがあることに気付く。 思いを伝え合い、人と関わる楽しさを味わう。	3.2	3.5	○保育者や友達だけでなく、地域の方や中学生、ボランティアの方との関わりを喜ぶことができた。 ○保育者が意識して子どもの声を傾聴することで、聞いてもらえているという安心感から伝えることに喜びを感じられるようになった。 ☆保育者が思いやりの気持ちをもって子どもに接していると、自然にそれを見本として優しい思いやりの気持ちが育っていく。その姿を子ども達から見る事ができた。
	精 神 的 発 達	自分の好きな遊びを見付けて主体的に遊ぶ。 試したり、工夫したりして繰り返し遊ぶ。	3.5	3.8	○自分のやりたい遊びに自ら取り組み、友達と一緒に繰り返し遊ぶ中で困ったことをどうしたらよいか考えたり、工夫したりすることができるようになってきた。保育者も加わり、ヒントを与えることでさらに発展した遊びとなった。 ○きらきらみつけで、友達の姿から刺激を受けて自分なりに考え工夫して遊ぶようになった。 ☆得意なことも苦手なこともまずは自分でやってみて、できないところは先生が助けてくれるというところに信頼感があると感じた。
家 庭 に 対 す る 支 援 等	地 域 と の 連 携	保護者に園の様子を伝え、保護者の話も聞きながら、共に子どもの育ちを支える。	3.6	3.7	○行事の当日に子ども達の様子をキッズビューで配信することで、保護者に行事等の様子をダイレクトに伝えることができた。 ○保護者アンケートを実施し、気軽に意見を伝えられる場を確保した。 ☆キッズビューや掲示板でその日に伝えてもらえるので、自分で話すことが苦手な子も親と共有できるのでありがたい。 ☆いろいろな活動を具体的に掲示したり、保護者アンケートをとったりして、丁寧にコミュニケーションをとることができている。
	保 幼 小 連 携	小学校とのつながりを大切にし、交流をする。	3.3	3.7	○交流を通し、大きい子へのあこがれの気持ちをもち「小学校でもがんばるぞ!」という意欲や挑戦する気持ちをもつことができた。 ○保育者が常に就学を意識して保育しているので、子ども達も自分で気付いて行動できるようになってきた。 ☆江東小学校との交流は5歳児が中心ではあるが、とても大切な活動である。浅草ひかりにこここ園ともドッジボール大会を行って交流していることは、とても良いことなので継続して行ってほしい。
体 実 制 施 全 運 般 営	危 機 管 理	実践的な指導力の改善に努める。 危機管理意識をもって未然防止に努める。	3.3	3.7	○園内研修で防災に関する専門家を講師に招き、学んだ。その安全管理に関する正しい知識を実際の訓練に活用し、危機管理意識を高めることができた。 ○怪我の報告書を回覧することで、他クラスの怪我の状況を職員間で共通理解し、再発防止に努めることができた。 ☆園内研修で防災に関する専門家を招いたことは良かったと思う。具体的な方法を学ぶことは大切である。

【次年度に向けて】

- ・子どもの興味関心に寄り添いながら、主体的に活動できる環境構成の工夫や援助の在り方を検討する。
- ・相手の思いに気付いたり、話に耳を傾けたりすることができるように援助をする。
- ・おたよりやドキュメンテーションの内容に活動のねらいや意味も加え、保護者に分かりやすく情報発信していく。
- ・日々の安全点検を行ったり、災害時における安全な避難方法を常に意識したりして、全職員で危機管理意識を高める。